

義父の米寿

右城猛

1. まえがき

6月20日(土), 義父の米寿を祝うため, 家族揃って高知空港7時10分発のANAで東京に行く。梅雨に入っているが天気は晴。機内から外を眺めると, 雲の上に顔を出した富士山が綺麗に見える。義父の長寿を富士山までもが祝福してくれているように思えた。



機中から眺めた富士山

2. 原宿と明治神宮

義父たちとは豊島園で合流する約束であるが, それまでの間, 若者に人気の原宿でショッピングをする。

竹下通りから横に入ったところに6月4日にオープンしたばかりの「花畑牧場カフェ」があった。

店内に入ると, 若い女性の店員から「商品を何か買われますか, アイスクリームを注文してくれた方だけに生キャラメルなどの花畑牧場の商品をお売りしています」と説明された。



最近オープンした「花畑牧場カフェ」



若い人たちでごった返す竹下通り

午前中の1時間ほどは家族のショッピングに付き合ったが, 昼食の後は家族と別れて明治神宮御苑の花菖蒲を見物しに行く。

御苑の花菖蒲は, 明治天皇の思し召しにより昭憲皇太后のために植えられたもの。現在では約150種1500株の花菖蒲が咲き, 多くの見物客で賑わっていた。



明治新宮の大鳥居



花菖蒲田



花菖蒲

3. 豊島園

13時50分 約束の10分前に豊島園に到着する。20年ほど前に子供を連れて家族で来たことがある。遊園地の入り口に座って待っていると、少し遅れて義父母と芙美枝さんがやってきた。

豊島園では、150種1万株あるアジサイが見頃で、「あじさい祭り」が開催されているのである。



義父は自宅から車椅子。義母は園の入り口で車椅子を借りる。



満開のアジサイをバックに記念撮影



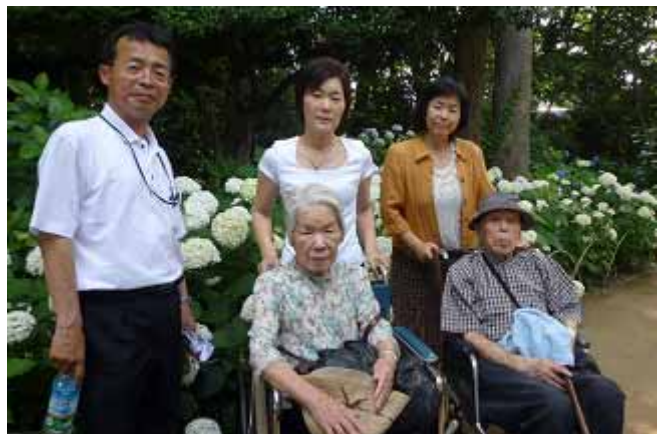
きれいなアジサイに義母も満足



1万株植えられているアジサイの一つ



「山アジサイの小径」のゾーンには、高知県や愛媛産の山アジサイがたくさん植えられていた。花が小さくて雑草のようである。





園内では、たくさんの「コスプレイヤー」を見かけた。アニメなどの登場人物のキャラクターに扮した若い男女が、写真を取り合っていて楽しんでいた。

4. 米寿の祝い

新宿の京王プラザホテルの本館2階にある「懐石 蒼樹庵」に、子供夫婦と4人の孫が集合して、17時より義父の米寿を祝う食事会を行う。

食事会のはじめに義父より、

『山あり谷ありの人生であった。過去は振り返らないことを信条としている。「明日がある」という言葉が好きである。孫達が立派に成長しているのが何よりも嬉しい。孫は天使である。ここまでこられたのは妻のお陰。感謝している』という内容の挨拶があった。

挨拶の後で4人の孫にそれぞれ金一封が手渡された。

どのような発言や行動をとれば、みんなが幸せになるかということを常に考えて来られた義父らしい思った。改めて尊敬の念を抱いた。

2年後には義父が卒寿で義母は米寿である。みんなで集まって、をお祝いさせてもらうことを約束する。



金一封と聞いて思わず顔がほころぶ和恵さん



嬉しさを押し殺して、有効に使わせてもらいますと言って受け取った怜佳さん。



天使のように優しく、家事や祖父母の介護にもよく気がつく早稲田大学3年生の信子さん。



ニュージーランドのオークランド大学に交換留学生として行くことが決まった慶応大学3年生の美子さん。



家族全員で記念撮影

5. 恵比寿ガーデンプレイス

21日(日), 10時半過ぎにホテルをチェックアウト。JR 新宿駅南口に隣接した商業ビル LUMINE2 の7階にある「ルミネ the よしもと」にチケットを買いに行く。生憎, 12時からの公演は既に満席で立ち見席のチケットしか残っていなかった。2時間の立ち見は疲れるので, 15時開演のチケットを買う。それまで子供達は渋谷でショッピング, わたし達は恵比寿ガーデンプレイスに行く。

JR 恵比寿駅からは, 約400mの動く通路「恵比寿スカイウォーク」がある。雨が降っていたが傘をささずに, 恵比寿ガーデンプレイスまで行くことができた。

ここは, 以前にサッポロビール恵比寿工場があった場所。そこを核として再開発され, 1994年10月に水と緑の街「恵比寿ガーデンプレイス」が誕生している。



彩り鮮やかなドイツ製の風車が飾られているセンター広場。雨が降っていたが屋根があるので傘はいらない。後の建物は恵比寿三越。



センター広場。後方の古風な建物はシャトーレストランジジョエル・ロブション

東京都写真美術館で開催されている世界報道写真展と東京都写真美術館収蔵展「第1部 東方へ 19世紀写真術の旅」を見る。

世界報道写真展は, 2008年に世界124カ国, 5508人のカメラマンから世界報道写真財団に寄せられた96,268点の作品の中から200点を選んで展示したもの。四川大地震の生存者を搬送する救助隊, 風俗店で働くホンジュラスの性転換者, チリで噴煙をあげるチャイテン山, 部族間の対立が続くケニア西部, パラク・オバマの大統領選など地球各地の真実を世界最高水準の報道写真で見ることができた。

東京都写真美術館収蔵展では, 写真の黎明期から現代に至るまで「旅」というテーマで生み出された作品を半年に渡って3部構成で紹介する計画にしている。展示されていたのは, その第1部。幕末から明治半ばにかけて, 極東への憧れをもって日本を訪れた外国人旅行者へのお土産用に製作された手彩色写真(横浜写真)を中心に構成されていた。

フランスで1850年に発明された「鶏卵紙」と呼ばれる印画紙に, ネガを密着させ太陽光で焼付けた赤褐色の画像に, 人が手で着色している。カラー写真と見間違えるほど巧みに色づけされている。文明開化で仕事にあぶれた浮世絵師や日本画家たちが写真師に雇われ, 手彩色の仕事をしていたようである。

見学したい場所はたくさんあったが, 時間に余裕がなかったので恵比寿麦酒記念館を駆け足で巡る。

恵比寿麦酒記念館は, 百年余にわたるサッポロ

ビール恵比寿工場を記念するとともに、ビール文化を伝えている。見学コースの最後には、ビールやワインを格安の料金で試飲できるコーナーがある。おススメは、4種類のビールを飲みくらべできる「飲みくらべセット(¥500)」だそうであるが、時間がなくてそれも体験できなかったのは残念。



恵比寿麦酒記念館の入り口



恵比寿麦酒記念館の中

6. 吉本新喜劇

「ルミネ the よしもと」で15時開演の吉本新喜劇を楽しむ。公演時間は途中5分間の休憩を入れて2時間15分。

前半は、ティーアップ、矢野・兵動、レイザーラモン、インパルス、ポテト少年団も、次長課長による漫才。

後半は喜劇。出演者はバイキング、谷口聡、功力富士彦、ガリットチュウ、バッドボーイズ他。

次長課長以外の漫才はイマイチであったが、喜劇は上手いと感じた。

席が後から2列目であり、舞台が遠いことと、



開演前の会場の様子。公演が始まると撮影は禁止。

前席の観客の頭が邪魔になって演技を見えにくかったのが少し残念であった。

7. あとがき

ルミネビルを出たのは17時半を回っていた。JR新宿駅から品川駅に出て、そこから京浜急行で羽田空港へ。羽田空港に着いたのは18時20分。高知空港行きのANA便が出発する時刻の30分前であった。

義父の米寿のお陰で、家族が一同に会して楽しい一時を過ごすことができた。2年後に再び家族全員が集合し、義父の卒寿と義母の米寿のお祝いをできることを念じている。

(2009年6月23日)